

平成 26 年度「とやま地域学」

本年度は、「富山県教育文化会館」において、9月2日(火)から9月5日(金)の4日間にわたって行い、県下の大学・高専の学生が、昨年度より多い101人が受講しました。

開講内容として、第1日目は歴史から見る富山の文化、産業をテーマに、2人の先生をお迎えし知識を深めました。



2日目には、富山の自然—災害、観光と題して、富山の自然と観光を盛り込んだ内容の講義を、4人の講師のオムニバス形式で行い、2時限目には昨年に引き続き、石井富山県知事にもご講義いただきました。



3日目には、現代の富山から未来を展望すると題し、データで読み解きながら富山の未来を考察しました。特に、森富山市長の講義は、GISと住民基本台帳を組み合わせたデータづくりから見えてくる様々な課題を、いかに解決していく施策ができるかによって、富山の将来が見えてくるとのお話をいただきました。



最終日には、座学の講義に関連するところの見学研修を行いました。午前中にはエコボート(富岩水上ライン)に乗船してミニパナマ運河を体験し、次に、富山を代表する酒蔵「栴田酒造店」において岩瀬の街づくりや酒の醸造について栴田社長からご講義いただき、また北前船で繁栄した森家にも足を運びました。

午後からは、細工かまぼこなどで有名な「梅かま」を訪問し、かまぼこ講義や製作現場を拝見しながら、富山の産業観光を学びました。



各日、学生の皆さんに講義・研修内容を踏まえレポートを課しましたところ、熱心に受講されていた皆さんだけあり、素晴らしいレポートとなったようです。

学生の皆さんからのアンケートからも好評価を得ており、今年もなんとか無事終了してホッとしているところです。

次年度に向け課題もありますが、また楽しめるような授業企画をしたいと思いますので、ご期待ください。